

感染看護学	2年・前期	1単位	講師 千木良悦子
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34121152

1. 授業のねらい・概要

感染のメカニズムおよび感染看護の意義理解し、感染対策・感染管理・感染看護に必要な知識を習得する。

2. 学修の到達目標

1. 感染のメカニズムを理解できる。
2. 感染防御の基本的対策が理解できる。
3. 職業感染防止への対応を理解できる。
4. 処置別感染対策の必要性が理解できる。
5. 講義で、罹患した患者や家族の気持ちを理解し、患者に寄り添う心を養う。

3. 授業の進め方

講義を中心に授業を進める。

4. 授業計画（講義）

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染予防のための基礎知識 2. 標準予防策・感染経路別予防策 3. 医療器具・処置関連感染防止 4. 職業感染防止 5. 洗浄・消毒・滅菌とファシリティマネジメント 6. 薬剤耐性菌対策 7. 医療施設における感染管理 8. まとめと試験 |
|---|

5. 成績評価の方法・基準

筆記試験(50%)、小テスト(30%)、提出物(20%)で評価する。

6. テキスト・参考文献

- 1) 有田清子（2021）：系統基礎看護学講座 基礎看護学 2 基礎看護技術 I 医学書院
- 2) 坂本史衣：基礎から学ぶ医療関連感染対策 南江堂

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

事前学習として、授業計画に該当する部分を最低1時間程度の予習および授業内容の復習をすること。

8. 受講上の留意事項

シラバス該当範囲の知識に関して十分に準備して臨むこと。
遅刻、欠席ならびに授業中の私語、授業に関係ない言動（スマホの使用等）は慎むこと。
講義時間開始後の無断での教室の入室および退出は慎むこと。
授業中の知り得た情報は口外しない。

9. 課題に対するフィードバックの方法

指示した課題は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求める。
定期試験の解答は試験後口頭または掲示でフィードバックする。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目であるが、看護師に必要な知識なので受講することが望ましい。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

該当する本授業は、医療機関における看護師としておよび感染管理認定看護師としての実務経験を活かして講義を行う。